

フェーレー口説

本調子

工	四	乙	四	合尺工	合尺工	合尺工	五	七	五	工
				さて	む	くぬ	ゆ	ぬ	ま	

尺	工	五	工	尺	上	老	上	尺	工	合尺工
ん	な	か	に	とび	でい	たる	む	ん	や	ひ

五	工	尺	尺	合尺工	五	四	乙	四	合	尺	合
と	ぬ	さ	ん	わざ	ゆ	わ	ざ	す	る	は	

乙	四	上	四	工	四	乙	四	工	四	乙	四
ん	ぱ	む	ん					んだまじい	ちんだ	とう	

工	四	乙	四	工	四	乙	四	工	四	乙	四
かじゅう	さん	とう	しぐる	うまでい	や	まとむぬ	わらびぬ	わんねえ	やたしが		

工	四	乙	四	工	四	乙	四	工	四	乙	四
じゅう	しち	はち	くる	いなく	にふら	つてい	あっぱん	がらあむ	くとう	ぬは	じま

工	四	乙	四	工	四	乙	四	工	四	乙	四
い	あら	に!	やみ!	やさ!							

一、さていむくぬ世ぬ 真ん中に
とびでたる者や 人ぬさん
業ゆ業する 半端者

二、世間 口舌 恐ろしや

我したシンカに フェーレーど
盗人呼ばわい またすしが

セリフ
んだまじ言ちんだ 十か十三年頃う
までいや まとむる童ぬ 我んねえ
やたしが 十七、八頃女に振らつて
いあつぱんがらあむ 事ぬ始まい
あらに！ やみ！ やさ！

セリフ
我んにん言ちんだ 一回ぬ過ち 世
間のお許さん 我面見んでえ フェ
ーレーどおーい！ 道ゆ歩みば 盗
人どおーい！ 余所ぬどう 我んね
え フェーレーなちええる
盗人なちええる あらに！ やみ
！ しら！

三、フェーレーフェーレーとう 呼ばつ

四、肝ぬ有様や 牡丹花

ていん 人ぬ命や取やびらん
女心ゆ取てい暮らす
セリフ

かあぎ姿ん 人並みに
有とおてい 遊びぬ ゆう過じてい
セリフ

さていさてい 言ちんだ まあぬ親
やれえ フェーレー成すんでい あ
たら産子ゆ 育ていみしえが 親ぬ
ゆし事 風に流ちよてい 胸勝手さ
い キツチャキまるびし
落ちていポン！ 下がていポン！
あらに！ やみ！ やさ！

はたまた言ちんだ 元銭かからん
取者大工ぬ 怖りてい這ういし フ
エーレーからん 真心盗むる 女ぬ
色香や ちつとう用心 心得てい香
すし
おー！ あらに！ やみ！ やさ！